

製品名: IKK ガンマウサギポリクローナル抗体**カタログ番号: APRab00188**

研究使用のみ

概要

説明	ウサギポリクローナル抗体
宿主	うさぎ
応用	WB,IHC,ICC/IF,FC,IP
反応性	ヒト、マウス、ラット
標識	非共役
修飾	未修正
アイソタイプ	IgG
クローン性	ポリクローナル
形態	液体
濃度	1mg/ml
保存	アリコートし、-20°Cで保存してください（12 ヶ月有効）。凍結/融解サイクルを避けてください。
輸送	氷袋
バッファー	リン酸緩衝生理食塩水中のウサギ IgG、pH 7.4、150mM NaCl、0.02%アジ化ナトリウムおよび50%グリセロール。
精製	アフィニティークロマトグラフィー

応用

希釈倍率	WB 1:500-1:1000,IHC 1:50-1:100,ICC/IF 1:50-1:200,FC 1:50-1:100,IP 1:20-1:50
分子量	Calculated MW: 48 kDa; Observed MW: 48 kDa

抗原情報

遺伝子名	IKBKG IKBKG; FIP3; NEMO; NF-kappa-B essential modulator; NEMO; FIP-3; Ikb kinase-associated protein 1; IKKAP1; Inhibitor of nuclear factor kappa-B kinase subunit gamma; I-kappa-B kinase subunit gamma; IKK-gamma; IKKG; Ikb kinase subunit gamma; NF
別名	
遺伝子 ID	8517
SwissProt ID	Q9Y6K9
免疫原	ヒト IKK ガンマの組み換えタンパク質

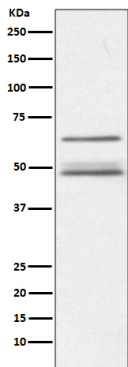
背景

NF- κ B/Rel 転写因子は、細胞質内で不活性な状態で存在し、阻害性 I κ B タンパク質と複合体を形成しています。NF- κ B を活性化するほとんどの因子は、リン酸化誘導性プロテアソームを介した I κ B の分解に基づく共通経路を介して活性化します。

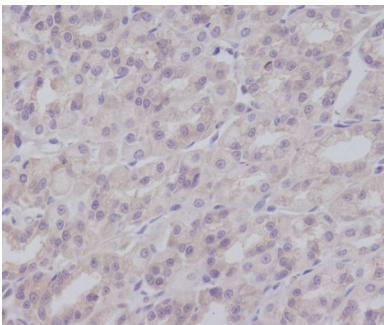
研究分野

細胞生物学

画像データ



IKK ガンマ抗体を使用した Jurkat 溶解物中の IKK ガンマのウェスタン ブロット分析。



IKK ガンマ抗体を使用したパラフィン包埋マウス結腸の免疫組織化学分析。抗原回復には高圧高温クエン酸ナトリウム pH 6.0 を使用しました。